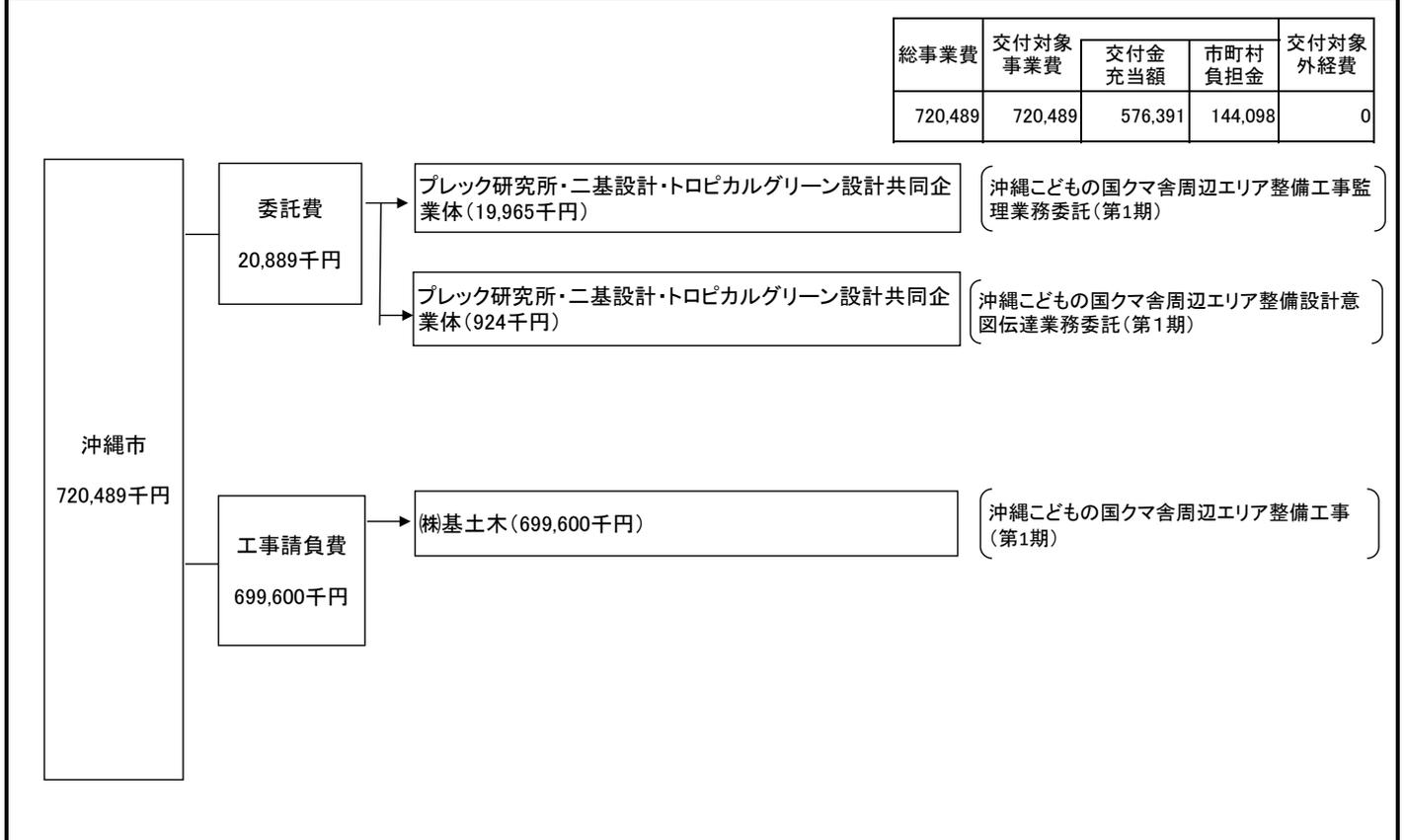


市町村名	沖縄市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-①	沖縄こどもの国施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア		
担当部課名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園やワンダーミュージアムの充実を図るとともに、動物展示施設やミュージアム展示施設の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	-	750,000	-		
		(b)予算現額	-	720,489	-		
		(c)増減額(b-a)	-	▲29,511	-	0	0
		(d)繰越額	454,725	-	440,649		
	A.計(b+d)		454,725	720,489	440,649	0	0
	B.執行済額		454,725	279,840	440,649		
	うち交付金充当額		363,780	223,872	352,519		
	次年度繰越額		-	440,649	-		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	38.8%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		先行の解体工事においてアスベストが検出されその処理に不測の日数を要したことで年度内での完了が困難となり、繰越(440,649千円)した。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	クマエリア周辺整備(第1期)の実施		目標 ()	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> H30繰越のサル舎施設演出工事、琉球弧エリア環境演出工事、ワンダーミュージアム展示品等整備及び空調整備については、計画通り実施し、目標を達成した。 R1年度のクマエリア周辺整備(第1期)については、R2年度へ繰越が生じた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	入園者数60万人	目標	()	(48万人)	(60万人)	()	()
		実績		49万人	53万人		
	クマ舎周辺エリア整備工事(第1期)	目標	()	()	(実施)	()	()
		実績			実施		
	サル舎施設演出工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	琉球弧エリア環境演出工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	ワンダーミュージアムの展示品等整備の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
実績			完了				
ワンダーミュージアムの空調整備完了	目標	()	(完了)	()	()	()	
	実績		完了				
【後年度成果目標】 年間目標入園者数 令和2年度:60万人		目標	()	()	()	(60万人)	
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の入園者数は530,981人となり、目標値(60万人)の約9割にとどまった。 サル舎施設演出、琉球弧エリア環境演出、ワンダーミュージアムの展示品等及び空調整備、猛獣舎新築(その2)については、計画どおり完了し、目標を達成した。 R1年度のクマエリア周辺整備(第1期)については、R2年度へ繰越が生じた 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(クマエリア周辺整備(第1期)) 沖縄県内唯一の本格的動物園として、本州の里山をイメージしたエリア整備をおこない、クマ、タヌキ、キツネなど里山由来の動物を展示するとともに、動物生態や特徴を発信するソフトサービスを併せて展開する必要がある。	(クマエリア周辺整備(第1期)) 動物の生態行動を促す展示や、エサあげや飼育体験など来園者サービスにつながるソフトサービスを検討する。
	(年間入園者数) 目標入園者数は概ね達成されたが、さらなる誘客及び来園者サービスの質を向上させる必要がある。	(年間入園者数) 新たな話題を提供し、それらを効果的に情報発信することでさらなる誘客を図る。

今後の取り組み方針	
(クマエリア周辺整備(第1期)) 動物の生態行動を促す展示や、観覧場所からのエサ上げや飼育員と一緒に動物の飼育・管理を学ぶ飼育体験など来園者サービスにつながるソフトサービスを検討・実施し来園者満足度の向上を図る。	
(年間入園者数) 動物の動きが活発になる夜間開園の拡大など新たな話題を提供し、それらを効果的に情報発信することでさらなる誘客を図る。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は100%であり、予算規模は適正と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	